



神奈川県

県土整備局 河川下水道部 下水道課

神奈川県流域下水道事業経営ビジョン

(令和6年度経営状況)

令和8年3月

1 令和6年度決算

(1) 業務実績

処理人口 (単位：人)

区分	令和6年度	令和5年度	増減
相模川流域	1,814,800	1,816,100	△ 1,300
酒匂川流域	269,400	269,600	△ 200
全体	2,084,200	2,085,700	△ 1,500

流入下水量 (単位：m³)

区分	令和6年度	令和5年度	増減
相模川流域	241,411,160	230,634,340	10,776,820
酒匂川流域	44,122,910	41,986,300	2,136,610
全体	285,534,070	272,620,640	12,913,430

流域下水道事業は、相模川流域では9市3町、酒匂川流域では3市7町で事業を実施しており、令和6年度の処理人口は208万4千人、流入下水量は2億8,553万m³となっています。

(2) 経営状況

令和6年度決算額は次のとおりです。

本県の流域下水道事業では、県及び市町の協議により、市町維持管理負担金等を、費用に応じて収益としているため、損益は生じません。

今後、施設の老朽化に伴う改築更新や物価上昇等により事業費の増大が見込まれる中、財源の確保に努めるとともに、施設の長寿命化や年度ごとの事業費の平準化を図りながら計画的に事業を推進することで、安定した経営に取り組んでいきます。

①収益的収支

(単位：百万円)

科目等	令和6年度決算額(A)			令和5年度決算額(B)			増減(A-B)		
	全体	相模川流域	酒匂川流域	全体	相模川流域	酒匂川流域	全体	相模川流域	酒匂川流域
収益的収入 a	22,871	17,819	5,051	21,880	16,921	4,958	991	898	93
営業収益	12,092	9,378	2,714	10,698	8,091	2,607	1,394	1,287	107
市町維持管理負担金等	12,092	9,378	2,714	10,698	8,091	2,607	1,394	1,287	107
営業外収益	10,778	8,441	2,337	11,181	8,829	2,351	△ 403	△ 388	△ 14
長期前受金戻入	8,658	6,787	1,870	9,066	7,183	1,883	△ 408	△ 396	△ 13
一般会計繰入金	1,993	1,538	454	2,071	1,614	457	△ 78	△ 76	△ 3
その他	126	114	12	42	31	10	84	83	2
収益的支出 b	22,814	17,779	5,034	21,825	16,873	4,951	989	906	83
営業費用	22,468	17,552	4,915	21,402	16,618	4,783	1,066	934	132
維持管理費用	12,126	9,450	2,675	10,602	8,072	2,529	1,524	1,378	146
減価償却費等	10,341	8,102	2,239	10,800	8,546	2,253	△ 459	△ 444	△ 14
営業外費用	346	226	119	423	254	168	△ 77	△ 28	△ 49
消費税資本的収支調整額 c	57	39	17	67	47	20	△ 10	△ 8	△ 3
当年度純利益又は純損失 a-b-c	0	0	0	△ 13	0	△ 13	13	0	13

(注) 表の数字は、端数切捨のため、合計額には一致しない箇所があります(次頁以降同様)。

②資本的収支

(単位：百万円)

科目等	令和6年度決算額(A)			令和5年度決算額(B)			増減(A-B)		
	全体	相模川 流域	酒匂川 流域	全体	相模川 流域	酒匂川 流域	全体	相模川 流域	酒匂川 流域
資本的収入 d	6,662	4,420	2,241	5,857	3,162	2,694	805	1,258	△ 453
(うち当年度財源)	(4,998)	(3,433)	(1,564)	(4,609)	(2,285)	(2,323)	389	1,148	△ 759
(うち翌年度繰越財源) e	(1,664)	(987)	(676)	(1,240)	(869)	(370)	424	118	306
企業債	1,153	771	382	1,118	477	640	35	294	△ 258
(うち当年度財源)	(1,151)	(770)	(381)	(1,118)	(477)	(640)	33	293	△ 259
(うち翌年度繰越財源)	(2)	(1)	(1)	(0)	(0)	(0)	2	1	1
国庫補助金	3,232	2,194	1,037	2,449	1,166	1,283	783	1,028	△ 246
(うち当年度財源)	(2,736)	(1,891)	(845)	(2,192)	(974)	(1,217)	544	917	△ 372
(うち翌年度繰越財源)	(495)	(303)	(192)	(257)	(191)	(66)	238	112	126
一般会計繰入金	714	485	228	909	621	288	△ 195	△ 136	△ 60
(うち当年度財源)	(706)	(478)	(227)	(853)	(582)	(270)	△ 147	△ 104	△ 43
(うち翌年度繰越財源)	(8)	(7)	(1)	(56)	(39)	(17)	△ 48	△ 32	△ 16
市町建設負担金等	1,563	969	593	1,379	896	482	184	73	111
(うち当年度財源)	(404)	(293)	(110)	(445)	(250)	(195)	△ 41	43	△ 85
(うち翌年度繰越財源)	(1,158)	(676)	(482)	(925)	(638)	(287)	233	38	195
資本的支出 f	7,933	5,626	2,306	7,748	4,201	3,547	185	1,425	△ 1,241
建設改良費	5,910	4,047	1,863	5,577	2,506	3,070	333	1,541	△ 1,207
企業債償還金	2,023	1,579	443	2,171	1,694	476	△ 148	△ 115	△ 33
資本的収支財源過不足額 d-e-f	△ 2,935	△ 2,193	△ 741	△ 3,131	△ 1,908	△ 1,223	196	△ 285	482
資本的収支不足額の補填財源	2,935	2,193	741	3,131	1,908	1,223	△ 196	285	△ 482

〈資本的収入〉

企業債は、1,153百万円で前年度に比べ、35百万円増加、国庫補助金は、3,232百万円で前年度に比べ、783百万円増加しています。

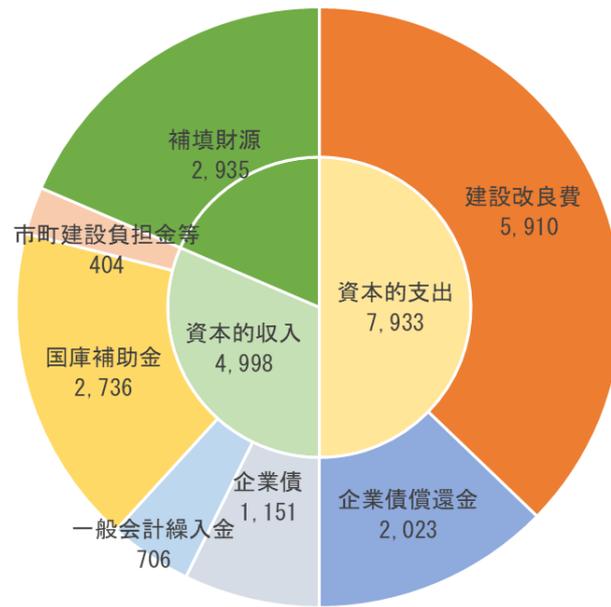
一般会計繰入金は、714百万円で前年度に比べ、195百万円減少、市町建設負担金等は1,563百万円で前年度に比べ、184百万円増加しています。

〈資本的支出〉

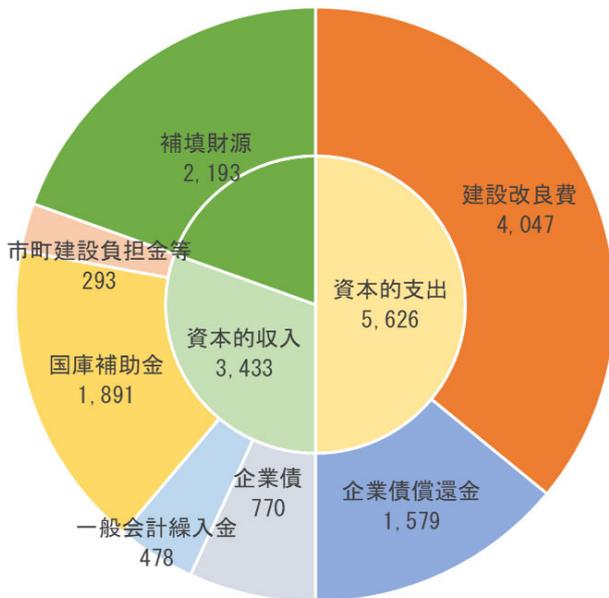
建設改良費は、5,910百万円で前年度に比べ、333百万円増加しています。

なお、翌年度繰越財源1,664百万円を除いた、資本的収入の総額は4,998百万円であり、これに対して資本的支出の総額は7,933百万円です。この不足額2,935百万円は、過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、当年度分損益勘定留保資金及び繰越工事資金により補填しています。

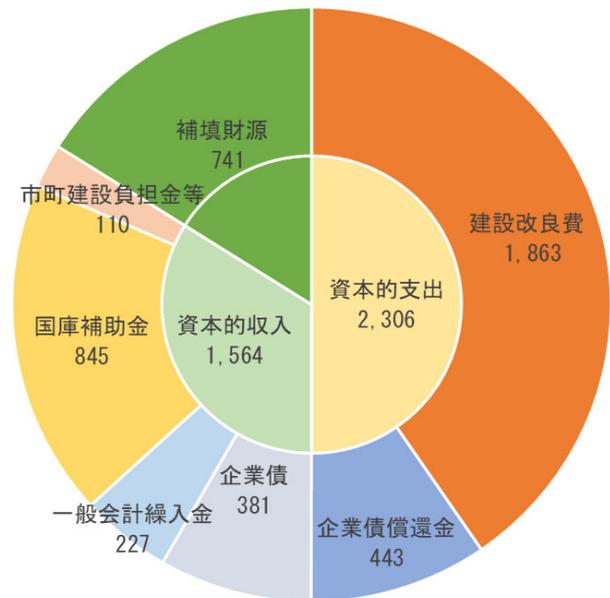
令和6年度決算額（全体）（単位：百万円 以下同じ）



令和6年度決算額（相模川流域）



令和6年度決算額（酒匂川流域）



※円グラフで示している資本的収入の額は、令和6年度の資本的支出に対する財源（令和6年度決算額から翌年度繰越額に係る財源充当額を差し引いたもの）。

(3) 主要施策別の決算額

(単位：百万円)

経営ビジョンの主要施策		令和6年度決算額		
		全体	相模川流域	酒匂川流域
1 効果的な 老朽化対策	(1) 改築更新の重点化	4,062	3,101	960
	(2) 適切な予防保全と維持管理の効率化			
	(3) 汚泥の集約処理			
2 災害対策の 強化	(1) 施設の耐震化	460	311	148
	(2) 施設の耐水化			
	(3) 下水処理場のネットワーク化			
	(4) 危機管理体制の強化			
3 環境保全の 推進	(1) 水環境の保全	840	266	573
	(2) 地球温暖化への対応			
合計		5,362	3,680	1,682

【改築更新の重点化】老朽化した中央監視設備の改築例（四之宮水再生センター）
(改築前) (改築後)



【施設の耐震化】耐震工事例（酒匂水再生センター）
(改築前)



(改築後)

2 経営状況を確認するための主な指標(流域下水道)

(1) 汚水処理原価【汚水処理費用(公費負担分を除く)/年間有収水量】

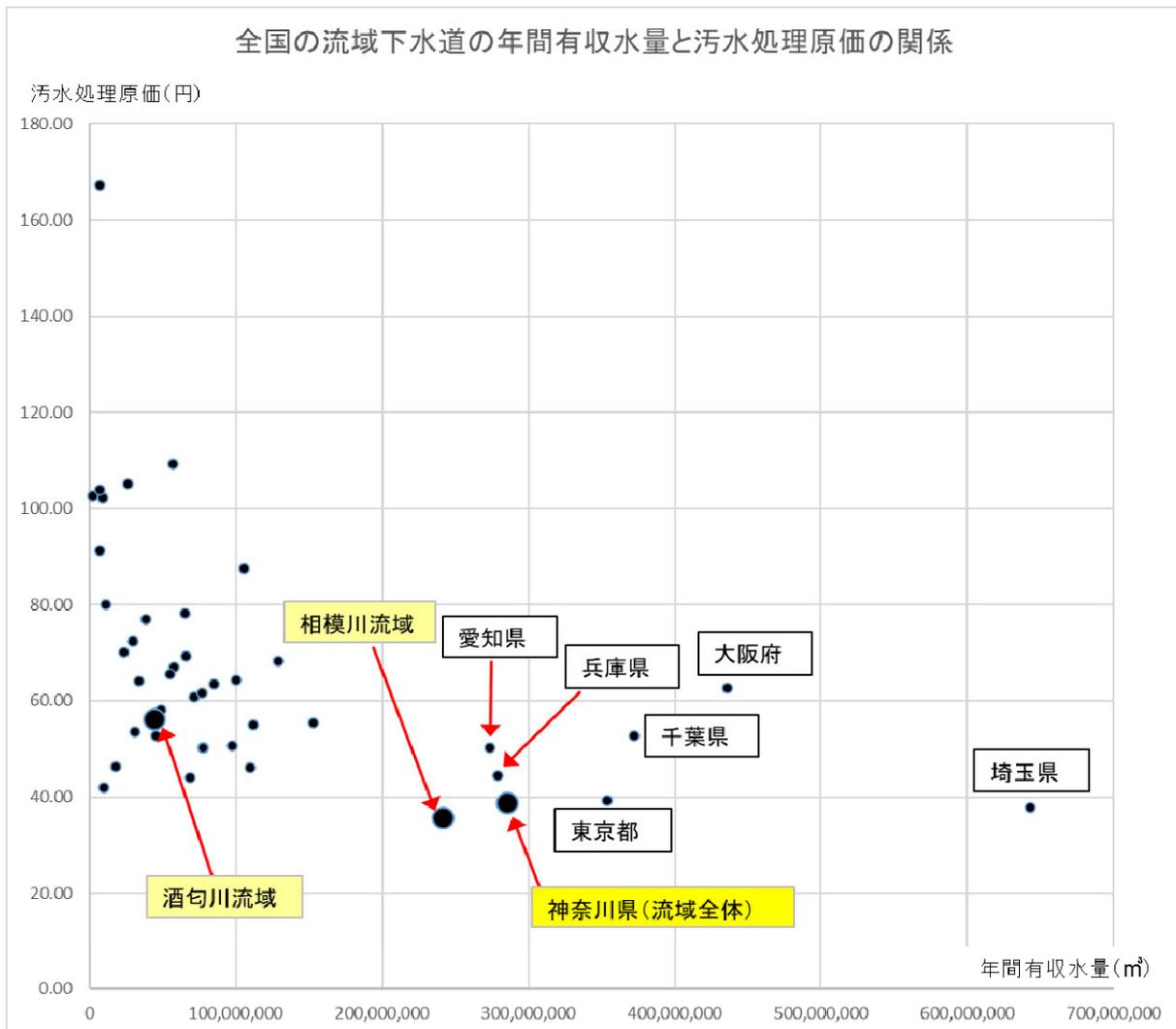
流入下水量 1 m³当たりの汚水処理に要した費用を表すもので、維持管理の効率性が確認でき、低い方が望ましいといえます。(単位：円<税抜き>)

神奈川県						全国平均値	他都府県 (R5決算)					
全体	R6決算		全体	R5決算		(R5決算)	埼玉県	千葉県	東京都	愛知県	大阪府	兵庫県
	相模川流域	酒匂川流域		相模川流域	酒匂川流域							
38.83	35.66	56.19	35.72	31.90	56.71	52.93	37.91	52.74	39.32	50.29	62.69	44.36

【指標から分かること】

- ・ 全体として比較的低い値となっていますが、今後も維持管理の効率化を進めていく必要があります。
 なお、相模川流域が酒匂川流域よりも低い値となっているのは、スケールメリットの差によるものと考えられます。

- (参考) ・ 下記グラフのとおり、規模が大きい(年間有収水量が多い)ほど、汚水処理原価は低くなる傾向があります。
- ・ 他都府県の値は複数の流域の合計です。



(2) 自己資本構成比率【(資本合計+長期前受金) / 負債資本合計 × 100】

処理場設備等の資産取得を企業債等の負債以外の財源でどの程度賄っているかを表すもので、比率が高いほど、経営の健全性は高いといえます。(単位：%)

神奈川県						全国平均値	他都府県 (R5決算)					
全体	R6決算		全体	R5決算		(R5決算)	埼玉県	千葉県	東京都	愛知県	大阪府	兵庫県
	相模川流域	酒匂川流域		相模川流域	酒匂川流域							
86.41	85.90	87.56	86.26	85.47	88.12	82.69	81.52	85.42	91.57	75.76	82.39	76.30

【指標から分かること】

- ・ 流域下水道事業で比較すると、国庫補助や起債の条件が同じである点で、他都府県と大きく変わらないものと考えられますが、全国平均値を若干上回っており、経営の健全性は比較的高いといえます。

(3) 有形固定資産減価償却率

【有形固定資産減価償却累計額 / 有形固定資産のうち償却対象資産の帳簿原価 × 100】

処理場設備等の減価償却がどの程度進んでいるかを表すもので、数値が高いほど、設備等の老朽化が進んでいるといえます。(単位：%)

神奈川県 [R2]						全国平均値	他都府県 (R5決算)					
全体	R6決算		全体	R5決算		(R5決算)	埼玉県 [H22]	千葉県 [R2]	東京都 [S43]	愛知県 [R1]	大阪府 [H30]	兵庫県 [H30]
	相模川流域	酒匂川流域		相模川流域	酒匂川流域							
28.01	28.75	25.42	23.68	24.43	21.04	40.81	46.89	15.63	55.52	17.75	62.62	27.85

※ 都府県名の下のカッコ[]は、公営企業会計に移行した年度です。

【指標から分かること】

- ・ 有形固定資産減価償却率は、法適用企業でないと算出できないため、基本的に公営企業会計移行後の数値となっており、他自治体との単純な比較はできませんが、総務省の経営比較分析表に基づき整理すると上記の数値となります。

なお、令和2年度に公営企業会計に移行した本県の数値は上記のとおりですが、公営企業会計移行前の減価償却を考慮して推計すると下記(参考)の数値となります。

移行年度の近い他都府県との比較や、公営企業会計移行前の減価償却を考慮した値を見ると、本県の資産は老朽化がやや進んでいると考えられ、今後、財政状態の健全性を確保しながら、計画的に改築事業を進めていく必要があります。

(参考)

神奈川県					
全体	R6決算		全体	R5決算	
	相模川流域	酒匂川流域		相模川流域	酒匂川流域
71.78	72.27	70.02	70.36	70.86	68.58

※ 出典：表及びグラフの他都府県の値並びに全国平均の値は、令和5年度地方公営企業決算状況調査表及び経営比較分析表(総務省)によるものです。

【参考】決算と経営ビジョンの比較

経営ビジョンでは、主要施策の実施に係る事業費の算出や汚水量の推計等を行い、公営企業会計の区分による10年間の流域下水道事業の収支の見通しを示していますが、決算額との比較は次のとおりです。

(1) 流域下水道事業全体

(単位：百万円)

科目等		令和6年度 決算額 流域合計(A)	令和6年度 経営ビジョン 流域合計(B)	増減 A-B
収 益 的 収 入	収益的収入 a	22,871	23,022	△ 151
	営業収益	12,092	12,197	△ 105
	市町維持管理負担金等	12,092	12,197	△ 105
	営業外収益	10,778	10,825	△ 47
	長期前受金戻入	8,658	8,755	△ 97
	一般会計繰入金	1,993	2,064	△ 71
	その他の	126	6	120
	収益的支出 b	22,814	23,022	△ 208
	営業費用	22,468	22,714	△ 246
	維持管理費	12,126	12,178	△ 52
減価償却費等	10,341	10,536	△ 195	
営業外費用	346	308	38	
消費税資本的収支調整額 c	57	—	57	
当年度純利益又は純損失 a-b-c	0	0	0	
資 本 的 収 入	資本的収入 d	6,662	8,850	△ 2,188
	(うち当年度財源)	(4,998)	—	
	(うち翌年度繰越財源) e	(1,664)	—	
	企業債	1,153	1,739	△ 586
	国庫補助金	3,232	4,469	△ 1,237
	一般会計繰入金	714	879	△ 165
	市町建設負担金等	1,563	1,762	△ 199
	資本的支出 f	7,933	10,631	△ 2,698
	建設改良費	5,910	8,597	△ 2,687
	企業債償還金	2,023	2,034	△ 11
資本的収支財源過不足額 d-e-f	△ 2,935	△ 1,781	△ 1,154	
資本的収支不足額の補填財源	2,935	1,781	1,154	

(2) 相模川流域下水道事業

(単位：百万円)

科目等		令和6年度 決算額 相模川流域(A)	令和6年度 経営ビジョン 相模川流域(B)	増減 A-B	
収 益 的 収 入	収益的収入 a	17,819	17,560	259	
	営業収益	9,378	9,195	183	
	市町維持管理負担金等	9,378	9,195	183	
	営業外収益	8,441	8,365	76	
	長期前受金戻入	6,787	6,780	7	
	一般会計繰入金	1,538	1,582	△ 44	
	その他	114	3	111	
	収益的支出 b	17,779	17,560	219	
	営業費用	17,552	17,324	228	
	維持管理費	9,450	9,166	284	
収 益 的 支 出	減価償却費等	8,102	8,158	△ 56	
	営業外費用	226	236	△ 10	
	消費税資本的収支調整額 c	39	—	39	
	当年度純利益又は純損失 a-b-c	0	0	0	
	資 本 的 収 入	資本的収入 d	4,420	6,603	△ 2,183
		(うち当年度財源)	(3,433)	—	
		(うち翌年度繰越財源) e	(987)	—	
		企業債	771	1,312	△ 541
		国庫補助金	2,194	3,261	△ 1,067
		一般会計繰入金	485	703	△ 218
市町建設負担金等		969	1,327	△ 358	
資 本 的 支 出	資本的支出 f	5,626	7,982	△ 2,356	
	建設改良費	4,047	6,398	△ 2,351	
	企業債償還金	1,579	1,584	△ 5	
	資本的収支財源過不足額 d-e-f	△ 2,193	△ 1,378	△ 815	
	資本的収支不足額の補填財源	2,193	1,378	815	

(3) 酒匂川流域下水道事業

(単位：百万円)

科目等	令和6年度 決算額 酒匂川流域(A)	令和6年度 経営ビジョン 酒匂川流域(B)	増減 A-B
収益的収入 a	5,051	5,462	△ 411
営業収益	2,714	3,002	△ 288
市町維持管理負担金等	2,714	3,002	△ 288
営業外収益	2,337	2,460	△ 123
長期前受金戻入	1,870	1,975	△ 105
一般会計繰入金	454	482	△ 28
その他	12	3	9
収益的支出 b	5,034	5,462	△ 428
営業費用	4,915	5,390	△ 475
維持管理費	2,675	3,012	△ 337
減価償却費等	2,239	2,378	△ 139
営業外費用	119	72	47
消費税資本的収支調整額 c	17	—	17
当年度純利益又は純損失 a-b-c	0	0	0
資本的収入 d	2,241	2,247	△ 6
(うち当年度財源)	(1,564)	—	
(うち翌年度繰越財源) e	(676)	—	
企業債	382	427	△ 45
国庫補助金	1,037	1,208	△ 171
一般会計繰入金	228	176	52
市町建設負担金等	593	435	158
資本的支出 f	2,306	2,650	△ 344
建設改良費	1,863	2,200	△ 337
企業債償還金	443	450	△ 7
資本的収支財源過不足額 d-e-f	△ 741	△ 403	△ 338
資本的収支不足額の補填財源	741	403	338